

別記第1号様式(第7関係)

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和3年度 第1回教育に関する事務の点検・評価委員会
事務局(担当課)		庶務課
開催日時		令和3年11月26日(金) 午後6時40分～午後20時30分
開催場所		豊島区役所 教育委員会室(本庁舎8階)
議 題		(1) 教育に関する事務の点検・評価の実施について (2) 令和2年度評価実施事業 取り組み状況報告 (3) 評価対象事業のヒアリング及び質疑応答 「ICT環境の整備」
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開      傍聴人数 0 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	美谷島 正義 木村 文香 岩井 由美子(敬称略)
	その他	教育長、教育部長、学務課長、学校施設課長、指導課長、教育センター長、 教育施策推進担当課長
	事務局	庶務課長

## 審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
美谷島委員長	<p>【開会】 委員自己紹介 事務局紹介 教育長挨拶 委員長選出 委員長職務代理者の指名</p> <p>それでは、お手元に次第が用意されておりますので、それに基づいて議事を進行させていただきます。 まず議事（１）「教育に関する事務の点検・評価の実施について」についてご説明いただきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。</p>
樋口庶務課長	<p>【議事（１）「教育に関する事務の点検・評価の実施について」の説明】</p>
美谷島委員長	<p>ただ今の事務局の説明の中で、流れとか内容についてご質問等ありますか。 この後の予定でいくと令和２年度の評価について、この項目が今回５つあります。前回は教員の研修とか、不登校対策の事業、この５項目はどのように決められていますか。たとえば教育委員会の中で、ここが今必要だろうというようなことを分析してこの５項目が出たのかどうかというところを教えて頂ければと思ひます。</p>
樋口庶務課長	<p>教育委員会では毎年教育目標を定めて、それをもとにして教育活動を進めていくというところで、その項目の中から重点的に行っていることについてご評価頂きたいということで抽出しているものです。</p>
美谷島委員長	<p>そうすると、いわゆる重点とは新規ではないということですか。</p>
樋口庶務課長	<p>新規ということではなく、特に重きを置いて取り組んできたことを選択として、また過去に評価をされている項目を見て、改めて評価をして頂く必要があるだろうということについて検討して選ばせて頂いています。</p>
美谷島委員長	<p>５つについて真剣に考えてなければいけないと思ひます。では宜しいでしょうか、では次に議事の２にいきたいと思ひます。</p>
美谷島委員長	<p>【議事（２）令和２年度評価実施事業 取り組み状況報告】</p> <p>議事の２は令和２年度の先程の５つ「評価の実施 取り組み状況の報告」ということで、それぞれ各課長からお話頂きます。質疑は、すべての報告のあとに行います。</p>

佐藤指導課長 野崎教育センター長 星野学務課長 小野放課後対策課長 宇野学校施設課長	1. 教員の研修 2. 不登校対策事業の強化 3. 外国人の就業対策 4. 子どもスキップ運営事業 5. 学校施設整備の補助金
美谷島委員長	それぞれ 5 人の課長からご説明を頂きましたが、何かご質問、ご意見がありますか。 これは報告について令和 3 年度の委員会で承認するということですか。報告事項ですか。
樋口庶務課長	あくまでもご報告です。
美谷島委員長	報告に対するの質疑ですか。
樋口庶務課長	確認をして頂ければというところです。
	質疑応答 1. 教員の研修
美谷島委員長	初めに教員の研修のご報告について、何かご意見、質問等はございますか。宜しいでしょうか。 教員研修は I C T に拘っていましたが、I C T に特化しているのでしょうか。そうではなくて広く教員研修という意味ですか。
佐藤指導課長	広く教員研修という意味です。
美谷島委員長	学校の立場だと、校長先生方から教職員を評価します。東京都の人事評価制度、それと豊島区の評価制度があって、整合を図るとするのは学校の校長としてのお願いということですか。それをある程度聞いてくださいということですので宜しくお願いします。
	2. 不登校対策事業の強化
美谷島委員長	続いて 2 番目に「不登校対策事業の評価」というご報告については、いかがでしょうか。
木村委員	基本的に全部伺っていて、これは不登校事業だけではなくて、こういうふうに即反映されるのだと感動しながら伺っています。 先程の教員研修のところで出てきた話とも関わってきますが、キャリアパス、キャリア教育研修というのが凄く特徴的だし、改善として書かれていた「生き方教育とか、キャリアプランニングに携わっている方のお話を聞く機会が生徒さんたちにあった」というのがすごくいいと思いました。 事業間での横の繋がり、例えば不登校対策のところから出てきている、意見の（４）に関して、「卒業した後も一貫して支援し続ける」という意味合いが、登校支援とか学校関係だけではなくて、まさに生き方教育に関するところかと思えます。 （４）の取り組み状況のところ、「関係機関等が支援することで」の中に入っていると思いますが、恐らく学校に行っていない子供とか、適

	<p>応指導教室に行っている子供たちが、場合によっては非常に具体的ですが、「キャリアプランニングに携わる企業人を講師として招いた研修」というところは、教員研修の（４）にあるような、キャリア教育に関するところは少し抜け落ちていますが一番受けてほしい人たちみたいなのところがあると思います。</p> <p>コメントのようなところですが、そういったところも含めて今後の検討を、（事業間での発想としてお持ちだとは思っていますが）、そこが取り組みとして表に出る形で残して頂けるといいと思ったのが一つ。</p> <p>（２）と（５）のところで、スクールソーシャルワーカーのことに触れておられて、取り組み自体も意見を反映して頂いたもので非常に有効なものだと思いますが、スクールソーシャルワーカー、個人の力に頼り過ぎるものにならないように、教育委員会の方でも、教育センターの方でも見守って頂きたいと思いました。</p>
美谷島委員長	岩井委員はどうでしょうか。
岩井委員	<p>私は令和２年にこのお話を伺ったときに、様々な組織でプロフェッショナルな方たちがこんなにたくさんの方々の支援、見守って頂いていると非常に感動した覚えがあります。</p> <p>この取り組み状況を見ると、更に細かく一人一人に寄り添うように具体的に取り組んで頂いているところを拝見し、取り組む側は本当に大変なことだと思いますが、今後ますますそういう子供たちのタイプというか、悩みというか、本当に細かくなっていくのではないかと思いますので、人員増員については今後も要望していきたいとありますが、どうか手厚く子供たちを見守って支えてほしいと思いました。</p>
美谷島委員長	<p>今のご意見はご尤もなことだと私は思います。</p> <p>キャリア教育イコールキャリアパスポートという考え方は是非持たないで頂きたいと思います。先程教育長とお話したときに、西巣鴨中学校と朋有小学校の連携授業で生徒指導の絡みの授業をしましたが、キャリア教育の一環です。</p> <p>キャリア教育はある面でいけば、一人一人の子供たちが成長していくキャリア発達に関して促していく教育ですから、キャリア教育イコールキャリアパスポートのように感じてしまいますが、毎日毎日の生き方です。</p> <p>先程木村委員が言ったように縦につながっていく接続、幼小中高という接続と横の関係機関の接続、それが両面で動いていかないと、キャリア教育はうまく進めていけないのではないかと思います。ですから特化しないで幅広く生き方を指導していくという形を今後も推し進めて頂きたいと思います。そういう中でオンライン、タブレットを使っていくのは非常に有効な手段だと思います。</p> <p>もう一つ私の個人的な意見です。不登校対策事業とありますが、ここに書いてあるのは、初期対応とか適用とかいわゆる対応です。不登校対策というとなんか少し違和感があるのは、不登校自体が悪いのではないかと思われてしまうからです。</p> <p>しかし毎日楽しく学校に行く、小学校、中学校、スキップというような放課後の遊びでもいいです。そういうところに楽しく来て人間関係を学んでいくとか、今はやりの非認知の学力、そういうものも学んでいくことが必要だと思います。</p> <p>できれば、不登校対策事業ではなくて、不登校対応事業の方が私はピンときますが、それは教育委員会事務局の方で是非お考え頂ければと思</p>

美谷島委員長	<p>います。</p> <p>それから、人間的なものは岩井委員のおっしゃったように、人を増やすということは大事なことだと思います。増やしたからと言ってその人のせいにするというわけではなくて、いい人もいれば少し困った人も中にはいます。</p> <p>そういう面での研修も含めて、人を増やすことと、人だけのせいにしないで頂きたいと、岩井委員もそうおっしゃりたかったのではないかと思いますので、是非それも踏まえて頂きたいと思います。</p> <p>では（１）（２）は宜しいでしょうか。</p> <p>3. 外国人の就業対策</p> <p>続いて「外国人の就学対策」について、ご質問ご意見はございますか。</p> <p>この翻訳アプリのほかにもいろいろなものがあると思います。便利なものはコストがかからなければ、発見して活用するということが一番いいことだと思います。これは是非続けて頂きたいと思います。</p> <p>コミュニケーションが取れないことは、やはりその子供にとっては厳しい状況になるので、是非その部分はICTの活用も含めて、工夫して頂きたいと思います。宜しいでしょうか。</p> <p>4. 子どもスキップ運営事業</p>
美谷島委員長	<p>では続いて「子供スキップ運営事業」ですが、正規 1 名が増員されて 1 名欠員だとプラスマイナスゼロです。そういう報告がありました、それも含めていかがでしょうか、岩井委員何かありますか。</p>
岩井委員	<p>スキップ運営事業もコロナ禍でずっと活動が出来なくて、スキップの所長と担当の方といろいろな話し合いがありました。やっと 11 月にけん玉を試しに少しやってみようということで、想像通り申し込みが殺到して、もともとの定員がいっぱいになり、やはり子供達はすごく楽しみにして待っていたという事を実感しました。</p> <p>その後「こどもスキップ祭り」は今回ビデオで撮って、タブレットを駆使して動画配信を取り入れたことで、子供は勿論ですが保護者にとってもとても有難いことに一緒に楽しめる形になりました。</p> <p>コロナ禍で辞めたくなくなったこと、子供達にはたくさん我慢させてしまったことありますが、こういうときだからこういうふうにしてやってみようかというところで、よかった、ひらけた、と非常に実感しています。</p> <p>今後様子を見ながらということになると思いますが、子供達が安心して楽しく過ごせる場所をしっかりと提供していきたいと実感しています。</p>
美谷島委員長	<p>宜しいでしょうか。</p>
木村委員	<p>コメントと 1 つ質問をさせて頂きたいと思います。</p> <p>令和 2 年度、来ている子供さんたちも増えていると思います。お子さんたちが楽しく楽しみに過ごされている中で、（３）事故対応のところで、こんなにいろいろやれることがあったと思ひまして、校庭での職員の配置とか、マニュアルとか、本来すごく時間をかけないといけないと言われてそうなところを、一気に進めたという命に係わることへの意識の高</p>

<p>小野放課後対策課長</p>	<p>さ、しかもそれがシステマティックになったところに大きな安心感を覚えました。</p> <p>加えて、私が令和2年度「件数だけ見ていると気が付かないが、子供さんの定員数に対して事故の発生件数でみると、件数が少ないように見えて実は結構多くないですか」というようなことを申し上げた記憶があって、パーセント的なもので見ていくことも大切だということは今後も続けて頂きたい、というコメントが一つです。</p> <p>実際肌感覚では大丈夫ですが、事故の件数とか実際に減ったというところはありますか。</p> <p>件数自体はそれぞれのスキップによって多い年と少ない年があります。令和2年はもの凄く大きな事故がありました。骨折にしても複雑な骨折とか、それはコロナがあけてすぐだったこともあると思いますが、令和3年は突き指とか、芝生で、公園で足の怪我とか、肌感覚としては大きな事故が少なくなった感じはします。</p>
<p>金子教育長</p>	<p>佐藤指導課長、骨折は減りましたか。</p>
<p>佐藤指導課長</p>	<p>骨折は減りました。</p> <p>2点要因がありまして、一点は子供自身がケガに気をつけて行動するようになった。自分自身の体力が少し衰えているということをお子さんがわかって、(全国の体力調査の結果を見て頂ければわかるように体力は下がっていますので)、意識するようになった。</p> <p>もう1点は、学校の新しい生活様式がしっかり定着しましたから、自分で自分の身を守り、一定距離を取りながら子供が、行動できるようになった。いろいろな遊具を使ううえでも、子供たちが使い方を意識できるようになったことが大きいと思います。体力的には下がったものは、この低下は1年や2年では、なかなか回復できないと思うので、じっくり時間をかけていきたいと思っています。</p> <p>学校再開時には、子供も自分の体力低下もわからなく、先程、岩井委員がおっしゃったように、子供が遊びに殺到したというのが現状です。出会い頭に子供がぶつかって転ぶとか、衰えがわからなくて負荷をかけて、自損によってけがをするなどです。現在はそれがなくなり、ただ引き続き体力が落ちていることは踏まえて見ていかなければいけないと思います。</p>
<p>美谷島委員長</p>	<p>宜しいでしょうか。</p> <p>木村委員もおっしゃったように、安全体力とか、そういった部分については、ヒヤリ・ハット報告を受けて、いわゆる対策が報告という、これは非常に大事なことで、情報だけを共有しても対策がなければだめです。是非今後ともそういう対策を入れた事業をやって頂きたいと思っています。</p> <p>私が校長をやっていたときに、食中毒とか給食に関係することで、栄養士が調理場にひとりひとりの動線を書いていて、はじめ見たときにびっくりしました。5人いたら、一人が青、次の人が赤というふうに全部重ならないようになっていきます。それは一つのシステムでしょうが、安全対策も恐らくそこまでやるという部分がありますので、対策も含めてこうだということをやっていくことによって子供の安全が守られるということで、是非今後も継続して頂きたいと思っています。</p> <p>5. 学校施設整備の補助金</p>

美谷島委員長	<p>では最後になりますが「学校施設設備の補助金について」いかがでしょうか。</p> <p>それぞれトイレ改修とか、それぞれの学校に教育委員会としての整備計画みたいなものは作られていますか。</p>
宇野学校施設課長	<p>ある程度残っている、例えばトイレでいけば、残っているのはプールのトイレと改築工だけということになってはいますが、年度毎に計画を立てて残っているのはどこになるという形で計画を立ててやっています。</p>
美谷島委員長	<p>順番などはありますか。</p>
宇野学校施設課長	<p>例えば大きなプールとか防水とか、そういったものについては、経年劣化の観点を踏まえて、場所ごとに何年置きにというような10年以上のサイクルの計画表がありまして、それに基づいて基本的には行います。個別に早く劣化してしまったものについては、個別の目視とか、そういった結果も踏まえて順番については対応して参ります。</p>
美谷島委員長	<p>いかがでしょうか。では第3の審議事項に入る前に5分間の休憩いたします。</p> <p>(休憩)</p> <p>(3) 評価対象事業のヒアリング及び質疑応答 「ICT環境の整備」</p>
美谷島委員長	<p>議事の3です。これは今年度からの評価対象項目の「ICT環境の整備」についてご説明頂いて、その後に質疑・ご意見を頂きたいと思えます。</p> <p>(資料1について) 総合教育会議とはどういう位置づけですか。</p>
樋口庶務課長	<p>これは法改正があって、各自治体が設置することになっているもので、豊島区でいうと区長と教育委員会の教育政策について協議をし、調整をするという場です。令和2年度は2回実施しまして、その第1回目の資料ということです。</p> <p>「ICT環境の整備」 ～資料説明～</p>
美谷島委員長	<p>ICTを活用した教室での同時配信は、大学と同じです。</p> <p>大学では分散登校と呼んでいますが、詳しい先生は、カメラなど、個人の持ち出しにより教材を準備する傾向にあります。</p> <p>持ち込みによるICT機器などを使用して授業を行っているケースもあり、ICT機器・技術の差は、教育の質に影響するのではないかと思います。</p> <p>また、ICTを無理やり入れた感もあり、ついていくのに教員は必死です。教員が、技術的ノウハウ持っている、いないに影響されています。</p> <p>学級運営、学級システムにこのような影響がそろそろ出てくると思いますが、このような課題には、どのように対応していますか。</p>
樋口庶務課長	<p>教員のスキルによって授業に格差が生じないように、研修を充実させて</p>

	<p>います。</p> <p>また、ICT支援員が各学校に行き支援しています。</p> <p>ICT支援員は、週に1回は学校に行き支援しており、電話における対応もしています。</p> <p>教員への研修は、指導課で行っており、タブレット事例集を作成するなどの取り組みを進めています。このような取組により、今年度に入ってから、先生も慣れてきているのではないかと思います。</p> <p>ICT支援員の支援内容も少しずつ変わってきており、今までは、操作支援が主で、現在は授業構築の支援が主となっております。</p> <p>タブレットが入ってから1年になりますが、子供たちはタブレット操作に関して全く困っていません。また、ICT支援員は、タブレットが一人1台配付以前から入っています。</p> <p>GIGAスクール構想は、主体的・対話的で深い学びの学習を進めていくことが目的にあり、教材として授業のどの部分にICTを入れていくのが良いか、授業な上手な先生に工夫してもらい、事例集も作ってもらいました。一方で技術的な格差もだんだん出てきているので、先生方の技術的な格差を埋める必要があります。</p> <p>コロナ禍もあり、集合研修を実施する時代から変わりつつあり、今後は先生が求める内容の研修（チャットを使った研修）を実施する必要があります。9月の土曜授業を使って本区のオンライン授業を一斉にやりました。オンライン授業もできるようになりました。1年間かけて段階的に進めてきました。</p> <p>不登校児童については、75%繋がっており、25%はオンラインでも繋がらない現状があります。今後、授業改善の道具としてICTを活用していく必要があります。メモ、ノートがわりとして使うのは、発達段階にあわせて活用すべきと考えています。</p>
佐藤指導課長	<p>タブレットが入ってから1年になりますが、子供たちはタブレット操作に関して全く困っていません。また、ICT支援員は、タブレットが一人1台配付以前から入っています。</p> <p>GIGAスクール構想は、主体的・対話的で深い学びの学習を進めていくことが目的にあり、教材として授業のどの部分にICTを入れていくのが良いか、授業な上手な先生に工夫してもらい、事例集も作ってもらいました。一方で技術的な格差もだんだん出てきているので、先生方の技術的な格差を埋める必要があります。</p> <p>コロナ禍もあり、集合研修を実施する時代から変わりつつあり、今後は先生が求める内容の研修（チャットを使った研修）を実施する必要があります。9月の土曜授業を使って本区のオンライン授業を一斉にやりました。オンライン授業もできるようになりました。1年間かけて段階的に進めてきました。</p> <p>不登校児童については、75%繋がっており、25%はオンラインでも繋がらない現状があります。今後、授業改善の道具としてICTを活用していく必要があります。メモ、ノートがわりとして使うのは、発達段階にあわせて活用すべきと考えています。</p>
美谷島委員長	<p>私はいろいろな形でやらされている立場ですが、ICTはツールとして使うのが大事だと思います。操作上のスキルは1年かけて、教育課程上の教化という面では良いかもしれないが、ICTを活用した徒指導、学校運営、心の繋がりを作る事には課題があると思います。教科外で繋がるにはどうしたらよいのか課題です。個別で繋がるのは難しいと思います。</p> <p>シートの4ページの図で一番大事なのは、ICT教育推進担当課長がいるだけで推進に繋がるが、こうやって推進した方が良いという、学校の思いを組み入れる必要があると思います。</p> <p>指導課が息をふきかけるだけでなく、ICTの専門家に入ってもらって、ICT活用のビジョンを作っていったらよいと思います。</p> <p>それぞれのブラウザ、アプリなど、何が使いやすいか、専門家だが入って提案していくことが必要だと思います。組織を入れた方がよいのではないのでしょうか。</p>
金子教育長	<p>教育長が主になってPTを作っており、学校長、先生にも入ってもらっています。まずは、先生方の意見を言うてもらう場が必要と思ったからです。専門家、学系が足りないが、我々が持っている資源を最大限に使った組織で、現場との乖離がないように作った組織です。</p> <p>また、子どものパソコンと同じものを今年教員に入れました。得意な人と不得意な人が、今は均一になっていると思います。</p>
野崎教育センター長	PTでは、様々な課題が上がっています。モラル面の課題もあり、来年



美谷島委員長	<p>にかけて、豊島区としての情報モラルはどうあるべきか検討して参ります。</p> <p>どういう専門家を入れるのか、人選が難しいですね。 モラルの部分も入れなければならない。スキルの弱い先生に簡単に教える人も必要となります。聞いてあげて、返せるような組織が強みになると思います。</p>
佐藤指導課長	<p>先生方から出てくる声を受け、そのニーズを集め、データで回答を配りました。いろいろな立場の前例を知っている人に入ってもらう必要があります。モラル面も検討し、情報モラルを守っていくことが重要です。 中学校生徒には、大人が作成したものを押し付けるのではなく、生徒自身に守ってもらうモラル・ルールを作ってもらうこと効果的です。</p>
美谷島委員長	<p>教科外で何か起こったときに、対応できる人がいると良いですね。</p>
金子教育長	<p>道具としてのびのび使ってほしい一方、モラル面で事故が起きている実態に早急に対応する必要があります。</p>
美谷島委員長	<p>モラル対策には是非今後も力を入れて頂きたいと思います。 他によろしいでしょうか。</p> <p>それでは本日の議事は終了といたします。</p> <p style="text-align: center;">—閉会—</p>

提出された資料等	<p>【資料1】教育に関する事務の点検・評価の実施について</p> <p>【資料2】令和2年度評価実施事業 取り組み状況報告</p> <p>【資料3】令和3年度 教育に関する事務の点検 事業分析シート「ICT環境の整備」</p> <p>【参考資料1】教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱</p> <p>【資料2】教育に関する事務の点検・評価実施要綱</p>
----------	---